

修道騎士セシリア

丸呑み魔力注入



500年前に
封印された魔王

インビジブル…

インビジブル
復活を目論み
暗躍する魔族たちは

勇者の末裔
アリアを
利用して

インビジブルの魂を
復活させる事に
成功する

アリアの姉

リーベ修道騎士団
修道騎士セシリアは

連れ去られた
最愛の妹を
助けるため

教団の制止も聞かず
単身で魔王のアジトへと
乗り込んだ

しかし…



くはは

最高だ

あの魔族殺しと
恐れられた
女騎士が

チンポ
突っ込まれて
よがってやがる

魔王様に
敗れて

毎日オークに
チンポぶち
込まれて

いいザマだな
セシリア

今日も子種袋が
空っぽになるまで
中出ししまくって
やるから

しっかり
その子宮で
受け止めるよ

やめろ…

中はもう

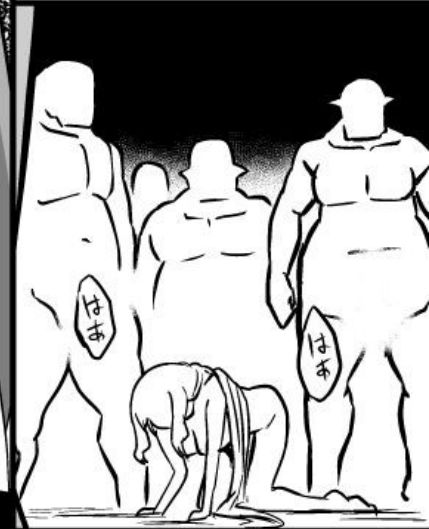
イクぞ

出すぞ
出すぞ



そおおおらッ
10発目ーッ





そろそろ
私たちに従う気にな
りましたか？

どうですか
お姉さま



私は貴様らのような
汚らわしい魔族に
下る気はない



何度
聞かれようが
答えは同じだ

ふふ

はあ

はあ

さすが
修道騎士

魔族殺しの
セシリア
お姉さま

そうでなければ
嬬り甲斐がない

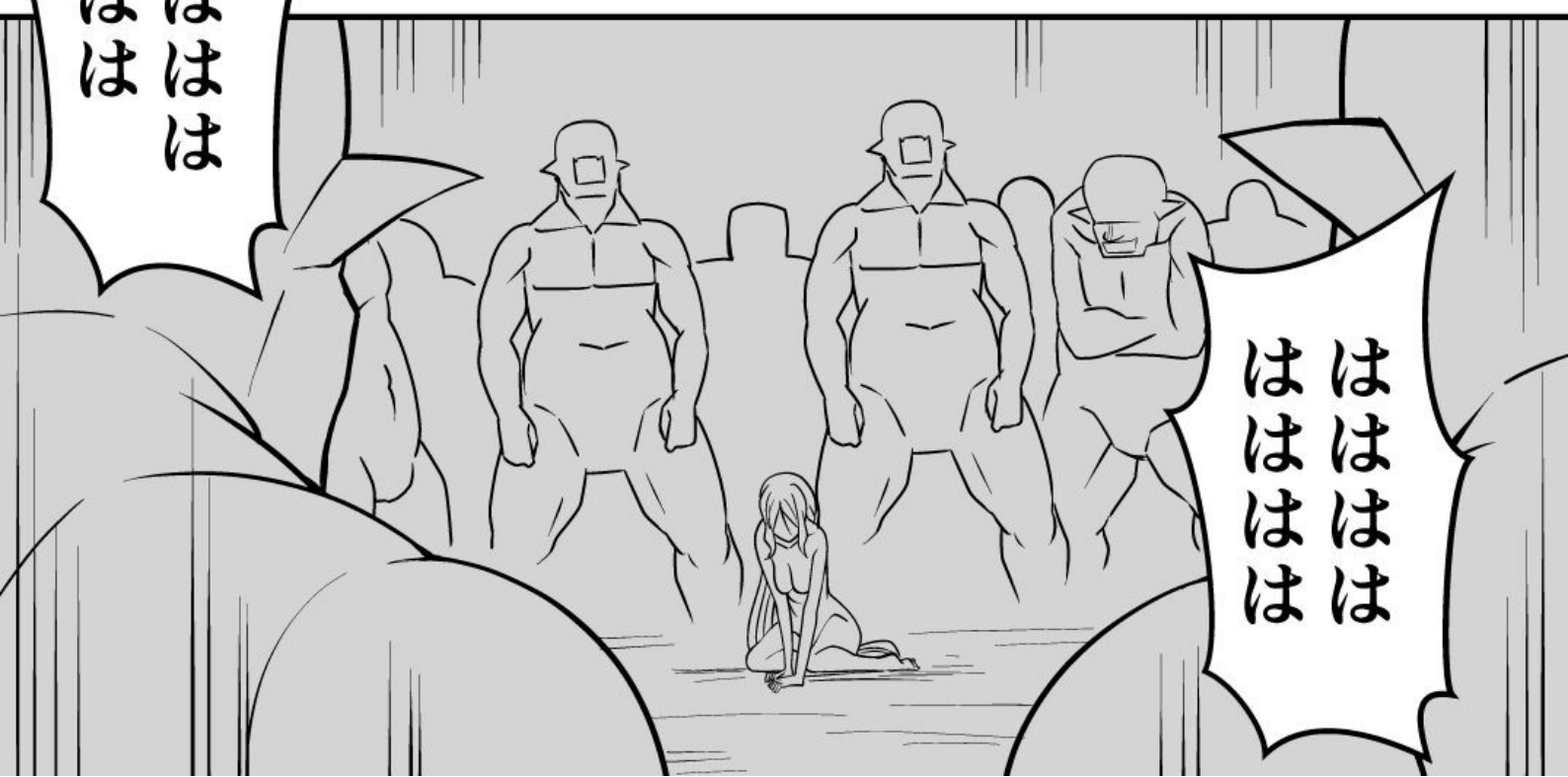
強く気高く
美しいお姉さまが
魔物に犯されて

淫らに悶え
泣き叫ぶのが
楽しみだわ

くくく

ツツ

それじゃあ
凌辱パーティの
続きと行こうか
セシリア

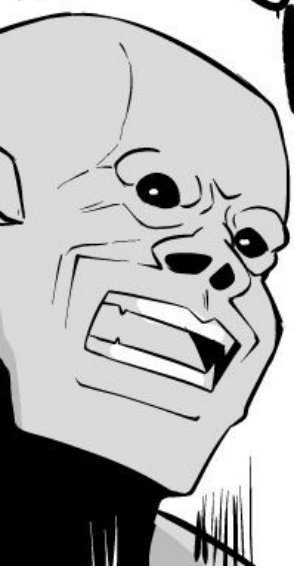


ここだ

ぐがあッ

なッ

何だ



驕り

油断

慢心

貴様らの警戒が
緩むこの瞬間を
待っていた

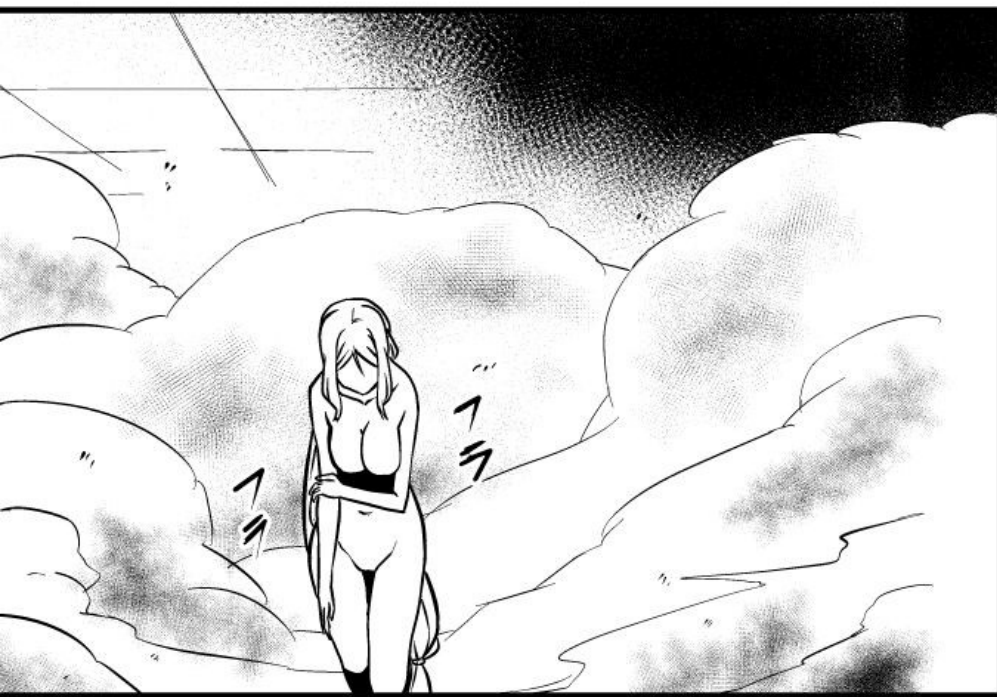
こいつッ
まだ

薙ぎ払え

ホーリー
セイバーツ

があああ







そんな…

バカな…

私の
渾身の
一撃が…



ふふふ

お姉さまの
考えなんて最初から
お見通しです



さすがセシリア
お姉さま

見事な
一撃でした



お姉さまが
全魔力を
使い切るのを

だから私は
待っていたんです



光の魔力を
消耗し切った
その身体は

闇の
魔力浸食への
耐性は皆無

乗せられた…

無防備
丸裸同然



ここからは
この私自ら

お姉さまを
侵して汚して
凌辱して

闇の底へと
導いて差し
上げます

この私の

腹の中で





たまるかッ

!!

なッ…
そんなッ

まだこんな
魔力が

その巨体…内側から
吹き飛ばしてやる
私を侮った事を
後悔しろ

待って
いやッ
いやーッ

なんてね





力が
抜けていく…

お前…
まさか…
私の魔力を

その通り…



あはははは

お姉さまの
魔力と… ても
おいしい

さすが
教団自慢の
女騎士



そんな…
力が…

お姉さまの魔力も
一滴残らず
しゃぶり
尽くしてあげる



私の持つ
ギフトは
『浸蝕』

光を喰らい
闇に染める力

力が：
入らない：

カク

ビク

ビク

ダメだ：
やめ：

グ
グ
グ

ヌメ

んッ

んん…

ヌメ

ここは…

あいつの
胎内か？

はあ…

はあ…

喰われた
のか私は…

狭くて
ヌメヌメして
いて

身動きが
とれない…

はあ

私の身体を
奥へ奥へと呑み
込んでいく

はあ

肉壁が
うねって

ぐわ

ぐわ

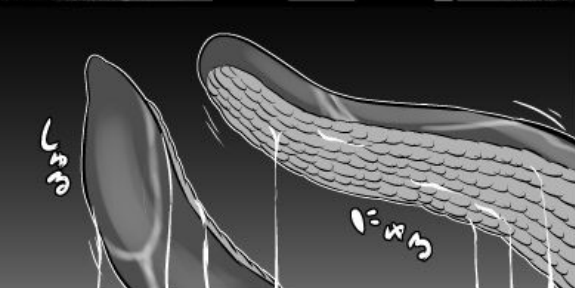
ぐわ

このままだと
まずい…

はあ

はあ

どうにかして
ここから脱出
しなくては



なんだ
身体が…

はッ

粘液が
滴るだけで
感じてしまう

はッ

この粘液…
ただの消化液じゃ
ないのか？

べーと

それじゃあ
次は

その可愛
おまんこの中に

魔力を直接
注ぎ込んで
差し上げますわ

グルッ

いやッ
待てッ

!!



やめッ

んおおお

ニギ

ニギ

どうですか
お姉さま

触手でおまんこ
じゅぽじゅぽなれて
気持ち良いでしょ

このまま
お姉さまの
ドスケベ
おまんこの中に

触手ザーメン
たっぷり中出し
してあげますわ

やめ…ッ

膣内は…

おおああッ

私の膣内に
触手チンポの
ザーメン
出されてるッ

出されてる…

身体が熱い…

触手ザーメンが
私の膈内を
満たしていく

何…
お腹の下から
何かが…

何かが…
来る…

この
感覚は

まさか…

待つてツ

いやッ
いやッ

いやあああッ

あはははは

おまんこに
注がれた魔力に
反応して

触手でおまんこ
突く度にビクビク
跳ねちゃって

おもし
ろーい

感じてなど…

いな…んはッ

立派な
おちんちんが
生えて来ましたよ

うそだ…

こんなの…
こんなの…

ひょっとして
侵されて感じ
ちゃってるん
ですか？

嘘は
だーめ

ッああ

もっともっと
魔力を注ぎ
込んで

おチンポに
逆らえない

ドスケベな
身体にして
あげる

膣内に魔力を
注がれる度に

快樂が
私を呑み込んで
いく…

このままだと
私は本当に…

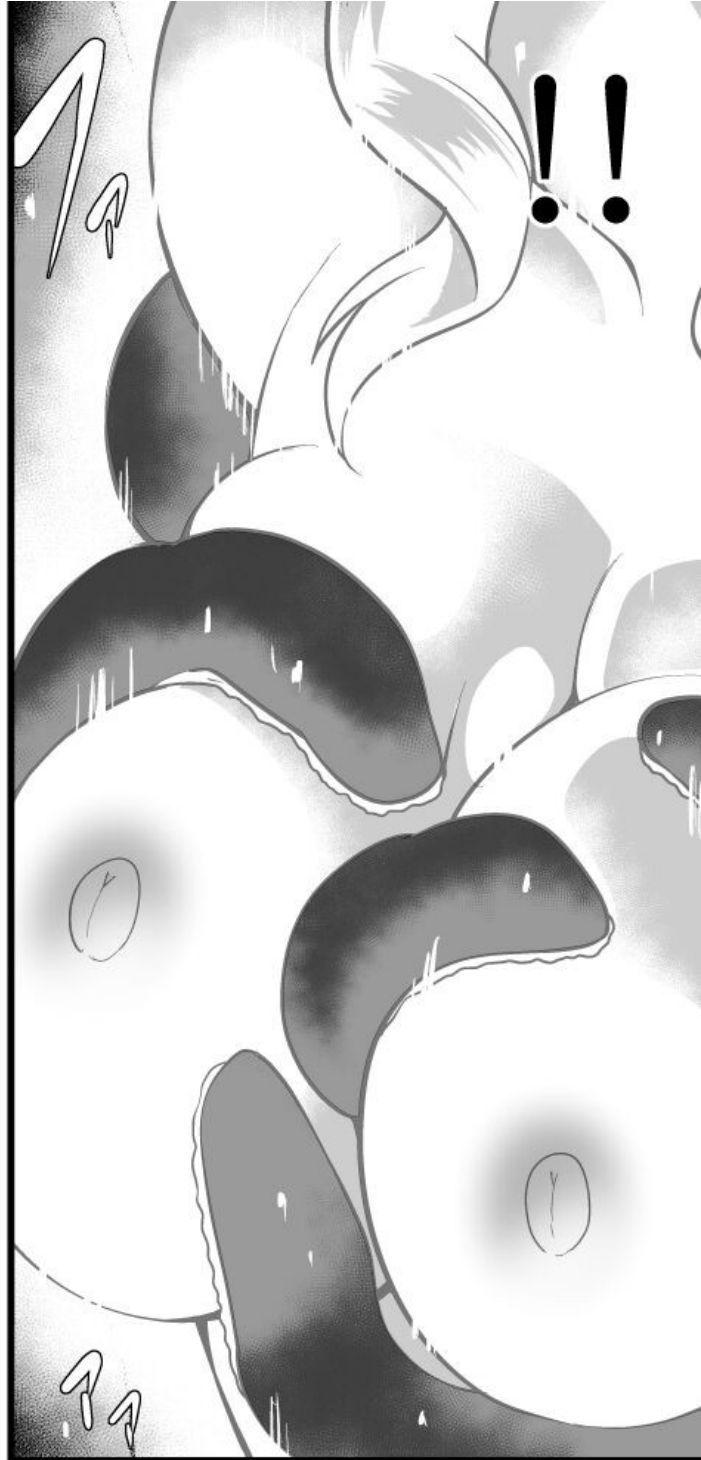
ダメだ…

呑み込まれて
たまるか



体内で光の魔力を
生成して闇の魔力を
中和すれば

魔力の浸蝕を
抑えられるはず



今は耐えて
抜け出す
きっかけを…

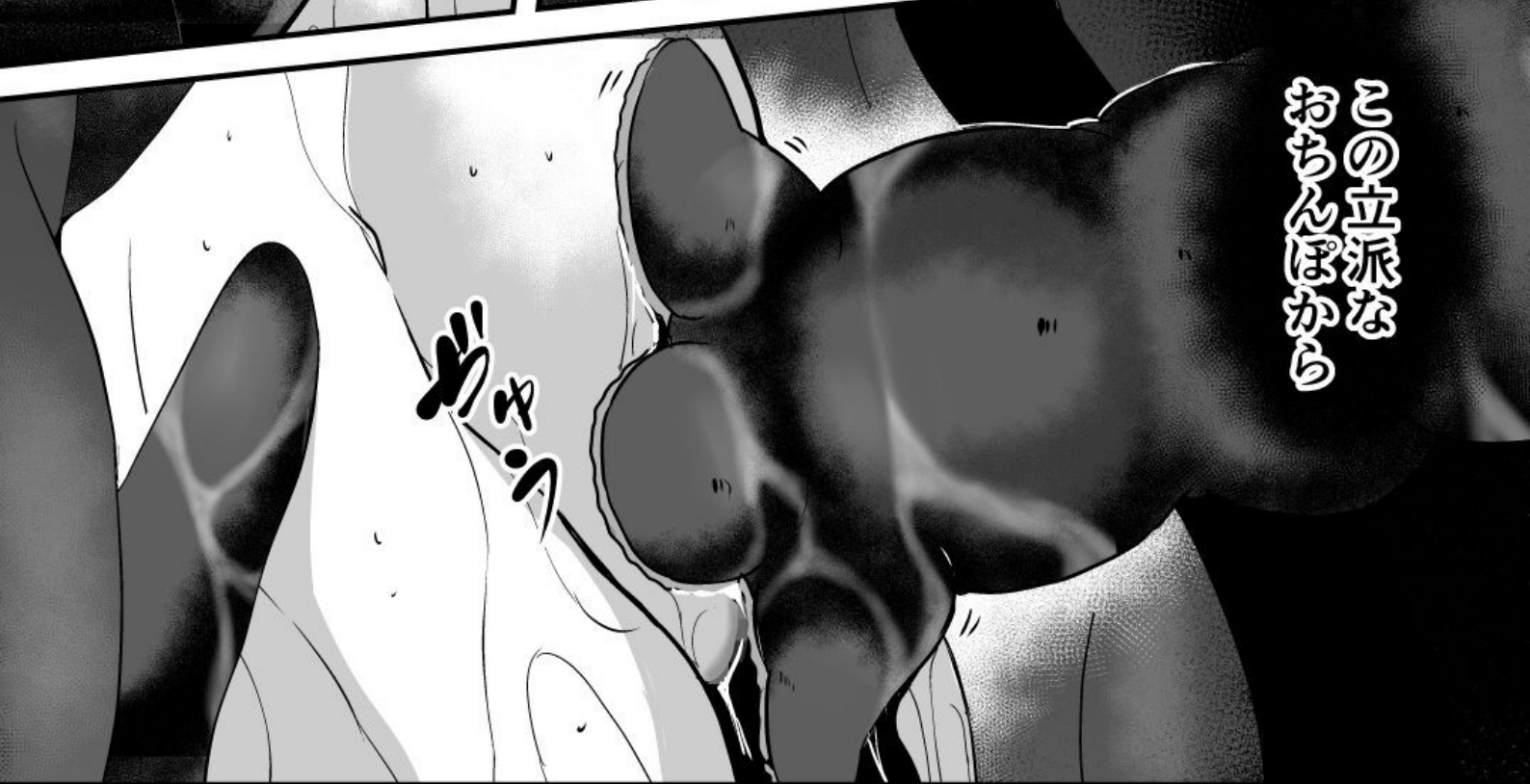
まだ抵抗する
つもり
なんですかあ

それじゃあ



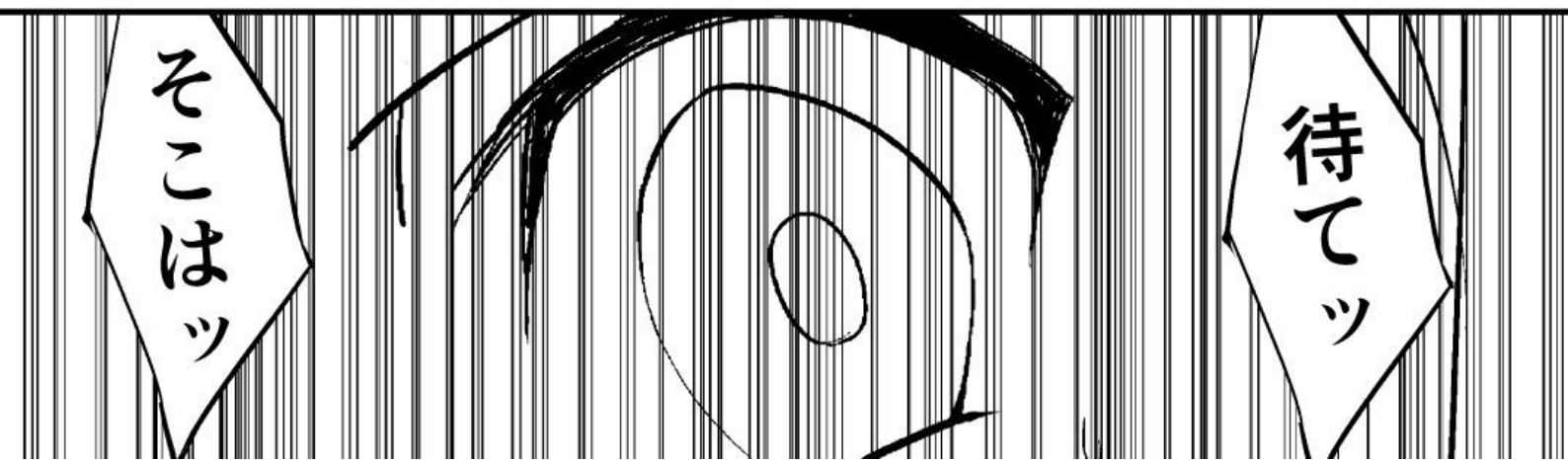
生成した魔力も
根こそぎしゃぶり
尽くしちゃい
ましよう

ひあッ



この立派な
おちんぽから

ギャッ



待てッ

そこはッ



おちんぽ

おちんぽ
出りゅ

おちんぽから
ザーメン出りゅー



おちんぽ

おちんぽ

ダメッ

そんなに
強く



あはは
ははッ

お姉さまのチンポ
ザーメンとっても
おいしいですわ

もっともっと
お姉さまの
濃厚ザーメン
しゃぶらせて

ダメッ
同時におまんこと
おちんぼされて

魔力生成に
集中できない



おちんぽお

あは

あは

おまんこお

もっと
乱れて

もっと
よがって

あああッ

ああその
だらしない顔

たまらないわ

もっと可愛ら
お姉さまを
見せてください

私は絶対…

魔族には
負けない

ああ♡
ああ♡
ああ♡

素敵素敵
素敵ッ

もっと
感じて

もっと
聞かせて

悔しそうなの
その叫び

今にも
泣き出しそうな
子供の様な顔

屈辱と
快楽で悶えて

イキ
たくない

嬌声を
響かせる

堕ちる

堕ちる
堕ちる

イキ
たくない

イキ
たくない

快楽に
吞まれて

盛大に
イキはてる

いや...

いや...



ふふふ

随分と
おとなしく
なりましたね

あ……

あ……

でも

まだまだ
です

その瞳から
光が消えて

完全に闇に
堕ちるまで

グッ
グッ

グッ
グッ

徹底的に

侵して尽くして
あげますわ



